

中南米教育者が網引小へ

研修で来日 授業見学や交流会

新市町の

網引小学

校（校長／

山室和恵・

213人）で10

日、国際交

流会が開か

れた。岡山

大学が独立

行政法人国

際交流機構

（JICA）

に協力して

実施する研

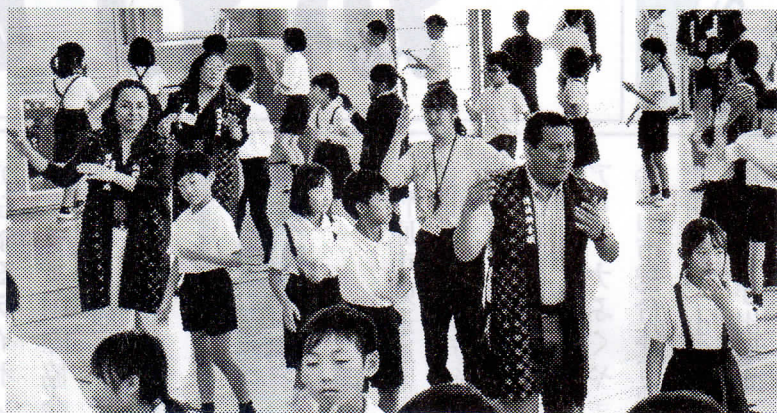
修活動の一

環で、日本

の教育を広く世界の

教育者に伝えること

が目的。中南米諸国



公立小学校のモデル校に選ばれた。この

日は、授業見学や児

童との交流活動が行

われた。去年に続き

2度目という。

同校を訪れたのは、

ベネズエラやパ

ナマ、コスタリカ、

ペルーなど11か国の

教育関係者11人で、

国の教育機関で指導

的立場にある人た

ち。5年生の算数の

授業を見学した後、

体育館で全校児童と

交流した。

児童会の鎌倉琉歌

会長（6年）が歓迎

のあいさつを述べ、

全校児童で校歌と

「ふるさと」を歌っ

た。続いて、勝ち残

りじゃんけんを英語

で開催。備後緋音頭

をつなぐ会のつなぎ

人8人とマスコット

キャラの「かすりん」

も登場し、全員で輪

になって備後緋音頭

を踊った。

エルサルバドルの

パトリシアさんは

「子どもたちが集中

して授業に臨んでお

り、教師も、児童が

意見を言えるように

的確なサポートをし

ていた。交流会では、

伝統的な踊りを地域

の方も子どもたちも

大切にしていること

が分かった。参考に

させてもらい、（自

国でも）児童

生徒を中心

とした教育体

制に近づけた

い」と話して

いた。

岡山大学は

JICAと協

力し、教育学

研究科で平成

28年度から算

数・数学教育

に携わる海外

の関係者に対

象に研修を実施して

いる。交流会では、

同校を理科教育のモ

デル校として教育研

究に関わってきた、

同大大学院の藤井浩



樹教授（ESD協働

推進室室長）と、算

数・数学教育をテー

マとする黒崎東洋郎

名誉教授の2名が案

内役を務めた。